『PCA 財務会計 シリーズ』補足説明書
（インボイス制度経過措置対応）

SCY20261026

本紙では、以下の製品のインボイス制度経過措置対応プログラムでの仕様変更点をまとめております。
操作方法などの詳細につきましては、PDF マニュアル、オンラインヘルプをご覧ください。

※ご利用のシステムにより、一部搭載されていない機能があります。
※旧製品からの変更点ではありませんので、ご注意ください。

≪対応製品≫

- 『PCA 会計 hyper』のバージョン 1.0、リビジョン 6.21 のプログラム
- 『PCA 会計 DX』『経理じまん DX』のバージョン 1.0、リビジョン 6.21 のプログラム
- 『PCA 医療法人会計 DX』のバージョン 1.0、リビジョン 6.21 のプログラム
- 『PCA 建設業会計 DX』のバージョン 1.0、リビジョン 6.21 のプログラム
- 『PCA 個別原価会計 DX』のバージョン 1.0、リビジョン 6.21 のプログラム

また、皆様から多く寄せられたご質問についての回答を随時「よくあるご質問」サイトに公開しております。こちらもご確認ください。

PCA お客様サポート　よくあるご質問
https://faq.pca.jp/

特設サイトのご案内

詳細につきましては、特設サイト「インボイス制度 令和 8 年度税制改正対応（2026 年）」をご覧ください。

https://pca.jp/area_support/invoice_2026_update/index.html

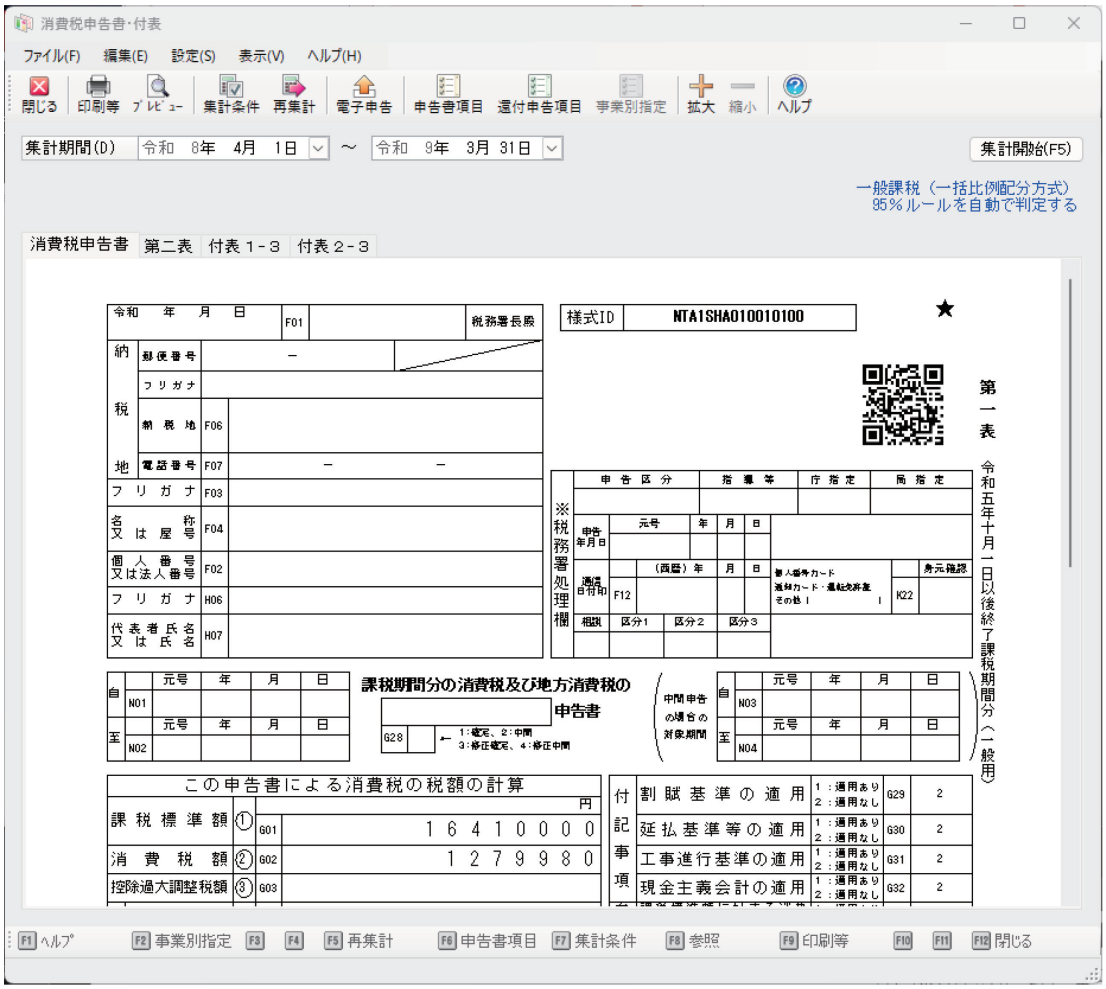
【インボイス経過措置対応】
［全製品共通］

≪「消費税申告書・付表」「電子申告」≫

「令和 8 年 10 月 1 日以後終了課税期間」の新様式および「70%控除税区分」の計算に対応しました。

≪「消費税申告書・付表」≫

新様式対応に伴い、［申告書項目］の追加や名称変更、AI-OCR に対応したデザインへの変更、新様式出力時のカラー印刷および OCR 印刷の廃止を行いました。



［PCA 会計 hyper/ PCA 会計 DX/ PCA 医療法人会計 DX］

≪「達人シリーズ連動データの作成」≫

消費税の出力様式に「令和 8 年 10 月 1 日以後終了課税期間分」を追加しました。

【その他機能変更点】
［全製品共通］

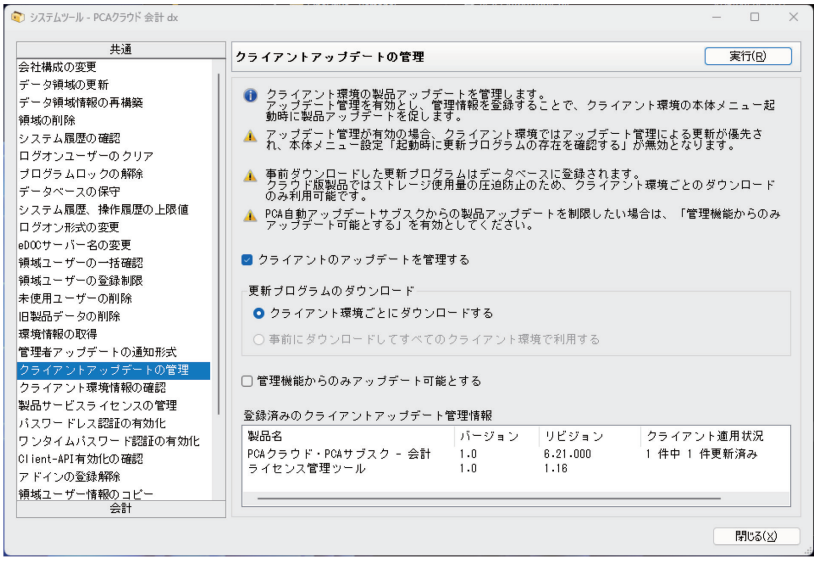
≪機能改善≫

・製品起動時のバージョン不一致メッセージについて、バージョン表記からリビジョン表記に変更しました。
・管理者製品アップデート通知ダイアログから、一括バックアップ処理を起動できるようにしました。
・バージョン情報ダイアログの表示項目に「セットアップタイプ」「ログオンユーザー」を追加しました。

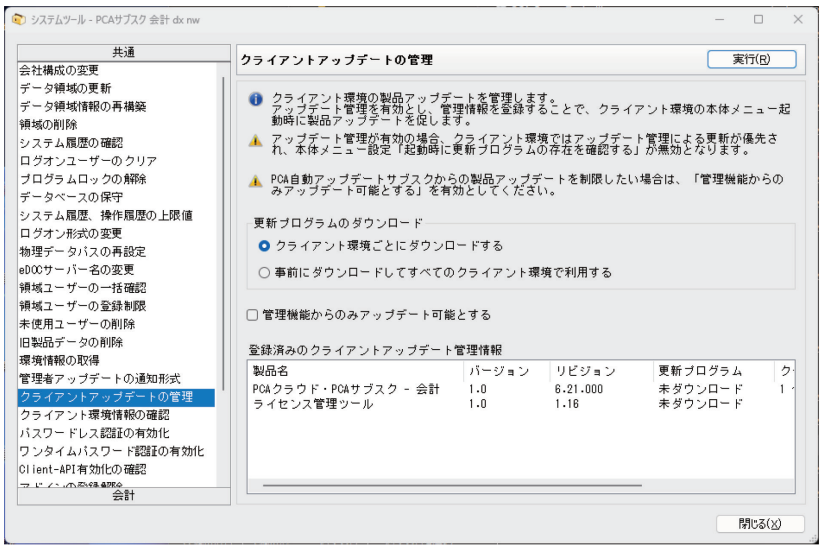
≪アップデート管理機能強化（PCA クラウド・PCA サブスクのみ）≫

・クライアントアップデートを管理機能からのみアップデート可能とする機能を追加しました。

【クラウドの場合】



【サブスクの場合】



[PCA 会計 hyper / PCA 建設業会計 DX / PCA 個別原価会計 DX]

≪『PCA Hub 経費精算』の仕様変更への対応≫

『PCA Hub 経費精算』のプロジェクト名が 50 文字に拡張されたことを受け、『PCA 会計 hyper』からセグメント（プロジェクト）名を転送する際に、文字数をカットせず転送するようになりました。

[PCA 建設業会計 DX]

≪「自動仕訳の登録」「汎用データの受入」≫

自動仕訳の明細に工事・工種を指定して登録可能になりました。
自動仕訳が利用可能な各処理において、明細に指定された工事・工種が反映されるようになります。

≪「汎用データの受入」≫

予約伝票の受入で「工事入力」が「しない」の勘定科目に工種が指定されている場合はエラーとなるように修正しました。

[PCA 個別原価会計 DX]

≪「自動仕訳の登録」「汎用データの受入」≫

自動仕訳の明細にプロジェクト・工程を指定して登録可能になりました。
自動仕訳が利用可能な各処理において、明細に指定されたプロジェクト・工程が反映されるようになります。

≪「汎用データの受入」≫

・「汎用データの受入」にて、予約伝票の受入で「プロジェクト入力」が「しない」の勘定科目に工程が指定されている場合はエラーとなるように修正しました。
・「データコンバート」処理を廃止しました。